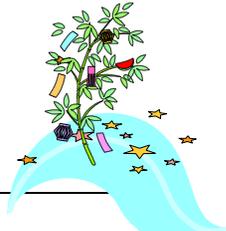




仲間と共に



7月の行事

1	月	エコフレンド 1年宿泊学習
2	火	1年生振替休業日
3	水	45分 ⑤⑥デートDV防止セミナー SC
4	木	ノ一部活デー
5	金	45分 ふれあい食体験②③④21HR 漢検
6	土	全日本中学校通信陸上競技徳島大会 [ポカリスエットスタジアム]
7	日	
8	月	課題テスト
9	火	ふれあい食体験②③④22HR
10	水	ふれあい食体験②③④23HR SC 交通指導
11	木	
12	金	ふれあい食体験②③④24HR
13	土	
14	日	
15	月	海の日 全日本合唱コンクール県大会 [あわぎんホール]
16	火	
17	水	吉野川市人権意見発表会・マナーアップ活動 SC
18	木	大掃除
19	金	1学期終業式 学校安全の日 交通指導
20	土	
21	日	
22	月	三者面談
23	火	三者面談
24	水	吉野川市陸上競技大会 [ポカリスエットスタジアム]
25	木	三者面談
26	金	三者面談
27	土	
28	日	
29	月	三者面談
30	火	
31	水	
<8月の予定> 1(木)エコフレンド 全校登校日 13(火)~15(木) 閉庁日 20(火)NHK全国学校音楽コンクール県大会		27(火)2学期始業式 ノ一部活デー 28(水)確認テスト(1・2年) 中央委員会 29(木)専門委員会 30(金)45分 集会

1組 市原 愛心

糸数壕は、想像していたものとはまったく違いました。入口の段差幅が大きく、そのあと進んでいく道はとても歩きづらく、雨の影響ですべりやすくなっていました。奥に進んで広い空間に行くと、ここにたくさんの重症患者がいたとガイドさんが言っていました。そして、その場所ですべての電気を消すと、目の前が真っ暗で、近くにいた人が見えないくらいでした。この場所にずっといるのは、本当に怖いと思います。それに、その暗いガマの中を行き来していたのは、とても勇気のあることだと思いました。ひめゆりの人や住民、兵士とたくさんの人がその中でいたということは、戦争がそれほど残酷なことだったというのが伝わってきました。今は、手すりや柵で整備されているけれど、当時はなかったと思うと、とても怖いです。

平和学習を通して学んだことを今後いろいろな人に伝えていこうと思います。

1組 新田 桐己

マリンスポーツでは、ドラゴンボートに乗りました。最初はスピードが速くて怖かったけれど、途中からは慣れて楽しくなりました。その後は、海やプールに入りました。友達を砂で埋めるのがおもしろかったです。

国際通り自主研修も楽しかったです。友達と楽しく買い物ができたし、お昼ごはんもみんなで食べることができたからです。ぼくが特に行ってよかったと思うところは、ブルーシールです。沖縄ならではのシークワサー味のアイスを食べることができてよかったです。

修学旅行で、貴重な体験がたくさんできてよかったです。そして、無事に家に帰って来られてよかったです。3日間楽しかったです。

2組 藤原 大志

文化体験を申し込むときには、シーサーの色付けは簡単だと思っていました。しかし、実際に色を塗ってみると、綺麗に塗ることに苦戦しました。

ビーチバレーも、難しかったです。砂の上では、動いたり跳んだりすることが思うようにできませんでした。動きにくかったのも、ボールの正面や落下地点に入れませんでした。そんな状況の中でも、転んだり体勢を崩したときには、直ぐに立ち上がることを意識してプレーしました。体育館の床とは違った難しさを体験することができました。

2組 安原 深結

ジンベイザメのモニュメントは想像よりも遙かに大きく、迫力を感じました。館内に入ると、モニュメント以上に迫力を感じました。目の前に、優雅に泳いでいるエイや土から顔を出した可愛らしいチンアナゴがいたからです。そして、何よりも印象に残っているのは、堂々と泳いでいたジンベイザメです。感動のあまり写真を沢山撮ってしまいました。もう一つ感動したことがあります。同じ水槽の中に、大きさや色また形の違う生き物たちが、仲良く泳いでいたからです。私も自分の個性を出しながら周りのみんなの個性を受け入れて学校生活を送ってみたいです。

3組 福見 朋花

私は、シュノーケリングとドラゴンボートをしました。シュノーケリングでは最初は上手いかなかったけど、だんだん泳いでいくうちに上手く泳げるようになりました。映画に出てくるドリーや30cmくらいの魚もいました。その次はドラゴンボートをしました。スピードが速くて波があるとボートがゴコゴコになってめちゃくちゃ楽しかったです。カーブするときスリルがあって楽しかったです。その後は、海で泳ぎました。海がめちゃくちゃ塩の味がしてすっぱかったです。沖縄の海は天気はくもりだったけど、透き通っていてとてもきれいでした。

7月8日(月) は

第1回

課題テスト です!!



1学期最後の力試しのチャンスです。精一杯頑張って、有終の美を飾りましょう!

3組 岸田あさひ

アブチラガマに入った時、どんなに怖くて暗い中で住民が住んでいたと考えると、とても恐ろしいと感じました。特に怖かったのは、第3号室のところで、用無し、役に立たないと思われたら、そこに入れられ、ご飯も便所も風呂もない状態で、避難するときは青酸カリを飲まされて死ぬか、何もないところに放置されるかということです。実際にライトを消すと何も見えなくてここに放置されるのは本当に辛いことなんだなと思いました。ガマは安全な場所だと思っていたけど戦争にはどこも逃げ場は無いと知りました。

4組 岡瀬 菜那

系数壕の入り口は、かがまないと入れないくらい狭かった。ここで当時生活していたんだと思うと、とても大変で辛かったと思う。そしてけがの状態や体調によっては、死ぬまで太陽の光を見ることができない3号室に移動させられたことも知った。生きたいのに生きることができないたくさんの人たちのことを想像し、とても悲しい気持ちになった。また、全員のライトを消したとき、自分の手も見えない状態になった。いつ朝がきたかもわからないこのような状態が3ヶ月も続くと思うと、生きる希望もなくてとても悲しいだろうと思った。私たちは平和な世の中をつくらなければと思った。

4組 藤井 琉衣

ぼくは、国営海洋博記念公園に行って印象に残ったことが二つあった。一つめは「春の運動会」というイルカショーだ。二頭のイルカが長い棒を飛び越えて跳ね上げる水しぶきがすごくて、とても感動した。二つめは初めてジンベイザメを目の前で見たことだ。その大きさと堂々とした動きはとても迫力があつた。ジンベイザメの周りにいた魚も初めて見たのでその動きがおもしろかった。今度沖縄に来たときは、またこの水族館を訪れたい。



美ら海水族館



マリンスポーツ・文化体験

修学旅行の思い出



平和の礎



アブチラガマ(系数壕)



ゆいまーる



国際通り



〇〇 学年・全校人権集会 〇〇

6月5日(水)に学年人権集会、12日(水)に全校人権集会が行われました。本年度のテーマは「考えよう みんなで 守ろう 一人一人」です。学年人権集会では、8人の学級代表が意見発表を行いました。その後、意見発表を聞いて思ったことや考えたことをみんなで発表しました。全校人権集会では、他学年の代表の意見発表も聞くことができました。様々な意見や考えを聞きながら、自分自身や身の回りのことを振り返る機会となりました。

学級	発表者	演題
22	林 結衣	「戦争の怖さ」
24	忽那彩寿実	「沖縄戦」
23	山口 彩	「悪口でだれも傷つかないように」
23	藤原みつき	「悲劇を繰り返さないために」
22	野田 英都	「自分の成長をめざして」
21	後藤 連夢	「平和」
24	山川 歩輝	「沖縄がぼくに教えてくれたこと」
21	船越 紬	「言葉の重み」

全校人権集会では、忽那彩寿実さん、野田 英都さんが学年代表として意見発表を行いました。

人権集会を終えて

1組 野口 陽向

僕は、発表者の「当たり前のことのできない人もいる」という言葉が心に残りました。今、ご飯をお腹いっぱい食べることができたり、明るい場所で過ごせたりしているのは、当たり前のことになっています。このような今では当たり前なのが、戦争によってできなくなることは、とても悲しいことだと思いました。今の当たり前になんて不自由なことがあったら、すぐに文句を言うてしまうことがあります。でも、当たり前のことのできない人もいますので、これからは文句を言わずに生活していきたいです。

全員の意見発表を聞いて感じたことは、もっと自分の命や周りの人の命を大切にしなければならぬということです。僕とみんなが出会ったのは奇跡だと思うので、一つ一つの命を大切にしていきたいと思いました。ストレスや感情にまかせて悪口を言うのではなく、一度冷静になり、言っていることかどうかを考えて生活していきたいです。これらのことを学び、僕はこれから自分の行動や言動にもっと責任をもっていきたいと思いました。

2組 戸井 和歩

僕は、学年人権集会で8人の意見を聞きました。特に印象に残ったのは、野田英都さんの「自分の成長を目指して」という発表です。その中の「言葉使いに気を付けて相手を傷つけないようにする。」「親が育ててくれたことに感謝する。」ということが、すごく心に残りました。

学校では、「死ね」という言葉が多く耳に入ります。「死ね」、「消えろ」、「殺すぞ」、「きもい」など、相手は笑っていてもその笑顔の本心は分かりません。だから、少しずつこの学校からそのような暴言を無くしていきたいです。

また、西條先生は、「恩師と会話した次の日に、その恩師が亡くなってしまった。いつもの何気ない会話が最後の言葉になってしまった。すごく心が痛んだ。」と語ってくれました。この話を聞いて、言葉と行動に気を付けていきたいと思いました。

以前、藤井さんが私に挨拶してくれたとき、とてもうれしい気持ちになりました。私も藤井さんのように、人をうれしい気持ちに

きるような挨拶をしていきたいです。

この人権集会で様々な意見を聞くことができました。私は、個性を大切に、行動や発言をする前に一度考えてから行動しようと思いました。これからの生活に生かしたいです。

3組 大塚 優太

人権集会を終えて、今までの生活の過ごし方を振り返り、これからの過ごし方についてしっかり考えられる機会となりました。

特に、今回の集会では、「平和」について考えることができました。沖縄戦に関する作文には、「平和な世界にするのは自分たち次第」という言葉がありました。その言葉にとっても共感しました。そして、「自分たち次第」という言葉から、他人事ではいけないと思いました。

平和な世界にしていくためには、一人一人が気をつけなければいけないと思いました。だから、自分は「発言・言葉遣い」に注意します。言葉に関する作文から、たった2・3文字でもその言葉には、強く誰かに影響してしまうことを学べたからです。もしかしたら、その言葉が癖になってしまっているかもしれませんが、せめて、人前でだけでもマイナスな表現をしないようにしたいです。

何か行動する前に、冷静に考え直してから行動し、少しでも、身の回りにいじめや争いもない平和な環境にできるように自分自身していきたいです。

4組 久次米 歩斗

僕は、船越さんの1番心に残っています。船越さんは、「言葉の重み」というテーマでの作文でした。船越さんは「死ね」や「キモイ」などの言っではいけない言葉について話してくれました。僕は、それらの言葉を言ったり聞いたりしていました。

僕が軽い気持ちで言ったことに相手が傷ついていることなどまったく考えず言ってしまっていました。ぼくは、これから自分の口から出るひとつひとつの言葉を意識して言うようにしたいです。そして、みんなに信頼される人になっていきたいです。もし、悪口を聞いたりしたら、声をかけるなどして注意し、ぼくがこの学校を笑顔でうめつくし、世界一最高の学校をつくっていきたくと思います。だから、友だちと喧嘩をしないように気をつけていきたいです。

立派な大人になれるように、ひとつひとつ積み重ねて成長していきたいです。



☆人権委員会が
進行を務めました

〇〇 保護者の皆様へ 〇〇

1学期も残すところ20日足らずとなりました。保護者の皆様には日ごろより本校教育にご理解ご支援をいただきまして、本当にありがとうございます。さて、7月22日(月)から三者面談が始まります。お子様の学習や生活の様子について話し合いたと思います。面接の日時は、希望をもとに調整をさせていただき、7月10日(水)にお子様を通じてお知らせいたします。面接会場は、各学級の教室となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

※希望表は7月5日までにご提出いただけますようお願いいたします。